

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	学習サポートはなまる		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 12日		2026年 3月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 9日		2026年 3月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人一人の個性や意思を尊重した支援計画の立案、実施を行っている。	本人の個性に合わせて、活動内容や支援方法、教材などを工夫し、個々に合わせた支援を心掛けている。	学校や他事業所、医療機関などとの連携をより強化することで、さらにきめ細かいアセスメントを取り支援に活かしていく。
2	保護者との連携を密に取り、事業所と家庭の情報共有を支援に反映させている。	保護者からの連絡や相談に対してはなるべく即時の対応を行い、事業所での様子なども密に知らせることで安心感を持って利用していただけるよう心がけている。 また、保護者からの情報を職員間で共有し、日々の支援の質の向上に活かしている。	今後は保護者面談の機会や、親子での参加ができるイベントを定期的に行う予定であり、保護者とのコミュニケーションの機会の一層の充実に力を入れる。
3	職員間の申し送りや支援ミーティングの場を設け、児童のアセスメント、支援計画の立案・実施をチームで行っている。	個別支援計画作成や関係者会議の前後に会議を設ける他、日々の支援の中での気づきや課題、成功事例なども共有し、常に全体で計画の見直しや調整を行っている。	職員間の共有フォームの工夫や会議の方法の改善など、より効率的な情報共有の方法を模索しており、限られた時間内でさらに密な連携が取れるよう目指している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内での安全・衛生管理や、非常時の対応などが十分に児童や保護者に共有されていない。	安全・衛生管理や災害対策など、改善のためのマニュアルや委員会は設置されているが、日々の支援に十分活用されているとは言えず、保護者への共有や説明も不十分であると思われる。	委員会の活動計画およびマニュアルを見直し、日々の支援と連動させ、かつ児童や保護者へも十分周知されるよう運営・点検していく。
2	保護者会や家族参加のイベントが少なく、保護者同士やきょうだい同士の交流の場が十分に設けられていない。	長期休暇中などレクリエーションイベントを多数企画したが、児童のみで完結する内容に偏ってしまい、保護者も含めた交流の場に繋がられたものは少なかった。	今後は保護者会や親子での参加ができるイベントを定期的に行う予定であり、保護者同士やきょうだい同士の交流の場を増やすことで家族支援をより充実させていく。